



浚渫用パイプフロート

ウッキー®



古河電工

軽量・コンパクトながら

大きな浮力 しかも錆びず、 浸水で沈下しない。

「ウッキー[®]」は、古河電工の化学架橋ポリエチレンフォーム“フォームエース[®]”を層間熱融着した円筒状積層構造のパイプフロータです。

排砂管に直接装着しますので、コンパクトでシンプルな敷設ができます。

浸水による沈下もなく、安定した浮力が得られ、耐久性に富み、優れた性能を発揮します。

安定した浮力

微細な独立気泡体のひとつひとつが浮力として働きます。また、中空ではありませんので、衝撃で傷や孔があっても沈みません。

ウッキーは、ご使用管ごとにご希望のサイズ・装着個数を設計・製造いたします。

取り扱いが容易

軽量・コンパクトで取り扱いやすく、排砂管への着脱も容易です。浅水域や狭幅水路でも浮かせられます。

長期の安定性

海水で腐蝕することがなく、浸水による沈下もなく安定した浮力を長期にわたって維持します。

環境や安全に配慮

発泡にフロンを使用していません。また、海中に有害物質の溶出もありません。弾力性に富んでいることから衝突機材のショックをやわらげられます。

輸送しやすく経済的

収納場所をとらず、輸送の効率アップも図れます。また、繰り返し利用可能でたいへん経済的です。

圧送船に採用が増えています。

- 浅瀬でも浮きますから埋立地内の配管に最適です。
- 軟弱ドロ上でもスムーズに移動することができます。
- 小型船で曳航できます。

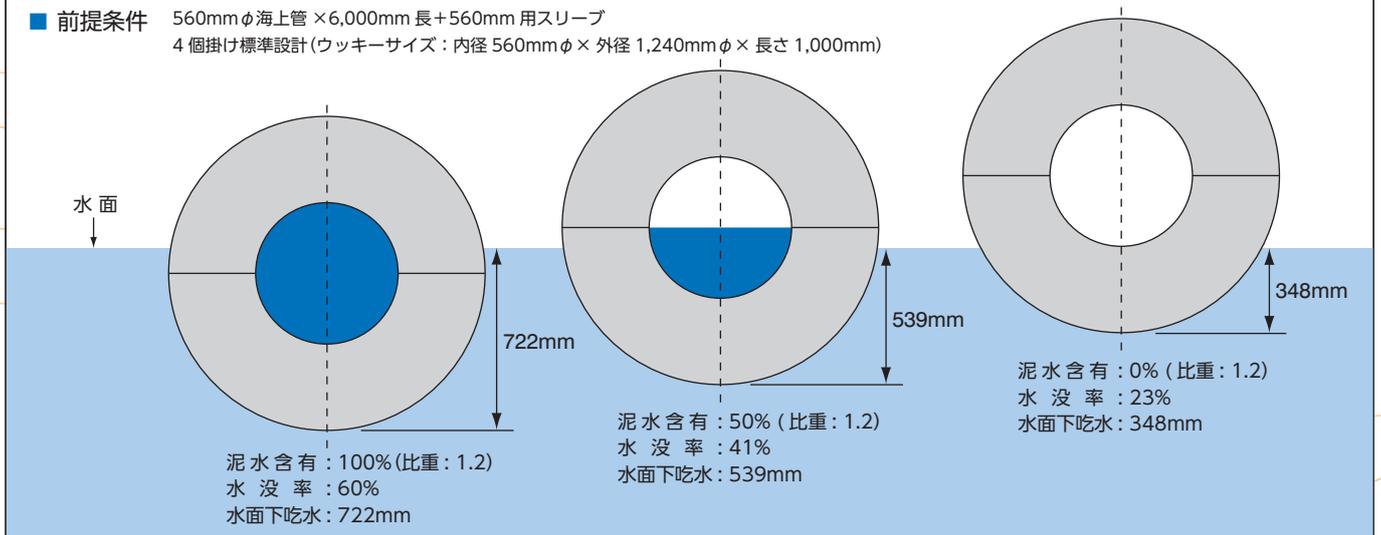


柔軟で強靱なフォームエース製 パイプフロータ「ウッキー®」



【吃水バランス】

- 前提条件 560mmφ海上管×6,000mm長+560mm用スリーブ
4個掛け標準設計(ウッキーサイズ:内径560mmφ×外径1,240mmφ×長さ1,000mm)



【ウッキー標準設計目安】 (含泥比重 1.2、フル運転時: 吃水 60%)

排砂管: 呼び径	200	250	300	355	410	510	560	610	630	660	685	710	760
排砂管: 内径 (mm φ)	204.7	254.2	304.7	355.0	410.0	510.0	560.0	610.0	630.0	660.0	685.0	710.0	760.0
排砂管: 厚さ (mm)	5.8	6.6	6.9	9.0	9.0	9.0	9.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
排砂管: 長さ (mm)	5,500	5,500	5,500	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
ウッキー装着個数 (個 / 鋼管 1 本)	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5
ウッキー内径 (mm)	210	260	310	360	420	510	560	610	630	660	690	710	760
ウッキー外径 (mm)	660	800	930	840	950	1,140	1,240	1,390	1,430	1,490	1,540	1,470	1,560
ウッキー長さ (mm)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

※上表以外の排砂管サイズや、ウッキー装着個数変更など、条件別設計も可能です。お問い合わせください。

装着手順

■ 結束バンド方式での例 (排砂管φ810×6,000mm、5個掛けの場合)



1 結束バンド(下)とウッキー(下)を並べます。



●海水用・結束バンド方式実施例



2 排砂管を下ろします。



3 ウッキー(上)をかぶせます。抜け防止のため、きつめに設計していますので、上から押さえつけてはめ込みます。



4 結束バンド(上)を掛け、くい込む程度にボルトを締め付けます。

■ 帯網バンドを使用の場合 (専用工具が必要です)



写真のように、外周側の帯網を結束機に通し、レバーを前後に駆動させて締め付けます。



●淡水用・帯網バンド方式実施例

▲ 注意

ウッキーは、発泡ポリエチレン製の可燃物です。解体時に溶断バーナーなどをご使用の際は、飛び火しないように充分ご注意ください。なお、保管時におきましても、火気に充分ご注意ください。

鉄ドラムフロートとも接続使用できます。

距離延ばしが必要なケースなどで、
鉄ドラムフロートとの接続使用も可能です。
ドラムフロートが潜り、なだらかな段差になります。



使用例



■ ウッキー採用実績 (代表工事抜粋)

工事件名	排砂管径 (mmφ)
相模川 (神奈川県)	510
熊本港 (熊本県)	340
霞ヶ浦 (千葉県)	270
博多港アイランドシティー (福岡県)	760
鳥屋野干潟 (新潟県)	160
ポートアイランド (兵庫県)	560
伊勢湾常滑沖 (愛知県)	355
中部新国際空港 (愛知県)	800
多目的ダム (山形県)	310
那智湾人工海浜 (和歌山県)	560
海外：シンガポール	700



●トラック荷台への積み込み例



●積み方を選ばない省スペース保管例

Q&A

よく聞かれる質問に
お答えします！

Q.1 欠けたり、潰れたりしませんか？

A 発泡体にもいろいろな種類があります。ウッキーは化学架橋したポリエチレンフォームです。柔軟性に富み、割れ、座屈はほとんどありません。

Q.2 紫外線でボロボロになりませんか？

A ウッキーは数十層の円筒状積層構造体です。10年程度経ても最外層が無くなりません。表面の艶や色は褪せますが、強度や浮力の低下の心配はありません。

Q.3 貝や藻は付着しますか？また、取る方法は？

A 無毒性材料を使用しているので付着はしますが、表面が滑らかなため鉄製フロータよりは付着しにくいようです。付着した際は乾かして叩いて落としてください。

Q.4 海上で排砂管を交換できますか？

A 排砂管が半分海中に浸漬しているので、困難です。

Q.5 なぜ2色にしているのですか？

A 外層：“フォームエース[®]”の強化グレードで警戒表示のために橙色にしています。本体：耐候性を上げるために黒色にしています。

Q.6 小石がめり込んだりしますが…土砂の上を引きずっても大丈夫？

A 中空ではありませんので、石がめり込んでも浸水しません。トラック上から落としても、転がしても、底づきしても、使用時に沈下することはありません。

Q.7 海中で使用できますか？

A 耐水圧仕様ではありませんので、深海では潰れてしまいます。ウッキー径までの水没でご使用ください。

Q.8 火気に対して大丈夫ですか？

A ウッキーは、発泡ポリエチレン製の可燃物です。溶断バーナーをご使用の際は、火炎および湯玉が直接当たらないよう充分ご注意ください。

Q.9 輸送や保管する時に何か注意することがありますか？

A 軽量ですので、輸送時にはしっかり固定してください。保管時も火気には充分ご注意ください。



古河産業株式会社

<http://www.furusan.co.jp/>

本社	〒105-8630 東京都港区新橋4丁目21番3号(新橋東急ビル)	TEL. (03) 5405-7619	FAX. (03) 5405-7633
関西支社	〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目2番22号(ハービスENTオフィスタワー)	TEL. (06) 6345-6998	FAX. (06) 6347-1669
中部支社	〒450-6643 名古屋市中村区名駅1丁目1番3号(JRゲートタワー)	TEL. (052) 414-5250	FAX. (052) 414-5268
九州支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号(日本生命博多駅前ビル)	TEL. (092) 483-5615	FAX. (092) 483-5610
北海道支店	〒060-0001 札幌市中央区北1条西4丁目1番地2(武田りそなビル)	TEL. (011) 231-4721	FAX. (011) 231-4720
東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1番25号(東二番丁スクエア)	TEL. (022) 262-2521	FAX. (022) 221-5758
北関東支店	〒320-0811 宇都宮市大通り4丁目1番20号(けやき通りビル)	TEL. (028) 622-5651	FAX. (028) 622-7765
群馬支店	〒373-0813 群馬県太田市内ヶ島町1067	TEL. (0276) 46-1275	FAX. (0276) 46-9820
中国支店	〒730-0037 広島市中区中町8番18号(広島クリスタルプラザ)	TEL. (082) 246-8531	FAX. (082) 249-7950

古河電気工業株式会社

<https://www.furukawa.co.jp/foam/>

AT・機能樹脂事業部門 機能樹脂製品部

本社	〒100-8322 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号(丸の内仲通りビル)	TEL. (03) 3286-3196	FAX. (03) 3286-3472
----	---------------------------------------	---------------------	---------------------

●お問い合わせは

・このカタログの内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。
・このカタログに記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

輸出管理規制について

本書に記載されている製品・技術情報は、我が国の「外国為替及び外国貿易法並びにその関連法令」の適用を受ける場合があります。また、米国再輸出規制 (EAR: Export Administration Regulations) の適用を受ける場合があります。本書に記載されている製品・技術情報を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において、必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省 または 米国商務省へお問い合わせください。